

スパイラルカフェに「ケーキセット」ならぬ「文庫本セット」登場！

spiral book project

NUMABOOKS presents 文庫本セット スタート！

2009年4月12日(日)～9月12日(土) *17:00以降の限定メニューです
スパイラルカフェ(スパイラル1F)

仕事の後に、本を通じて自分と向き合うひとときを

4月12日(日)から、スパイラルに本を使ったプロジェクトが新しくスタートしました。その名も「spiral book project」。これは「生活とアートの融合」をテーマに、現代アートをはじめ、暮らしに潤いを与えるためのさまざまな提案を行ってきたスパイラルが、新たに「本」のある生活の豊かさを伝えるプロジェクトです。

「NUMABOOKS presents 文庫本セット」は、NUMABOOKS ブック・コーディネーターの内沼晋太郎氏とコラボレートし、4月12日(日)～9月12日(日)にかけて、スパイラルカフェで展開します。

「文庫本セット」は、文庫本1冊とドリンク1杯がセットになったスパイラルカフェの新メニューです。月替わりで内沼氏がセレクトした5タイトルの中から好きな文庫本1冊と、12種類のドリンクから好きな一杯をセットでお楽しみいただけます。インターネットで入手できる手軽な情報が氾濫する中で活字から離れてしまった人、活字に触れたいけれど忙しさを理由に読書から遠ざかってしまった人に、改めて「本」の良さを見つめ直すきっかけを提供することを企図しています。

忙しい日々の中でじっくりと本と向き合う時間。想像力を巡らせて自由に心を解き放つ時間。それは、本を通じて自分と向き合う大切な時間だとスパイラルは考えます。「ケーキセット」がショッピングや散歩の合間に疲れたからだを癒してくれるように、「文庫本セット」は職場から家への時間をつなぎ、心をリセットするひとときを提供します。



本との偶然の出会いを演出する NUMABOOKS

NUMABOOKS ブック・コーディネーターの内沼晋太郎氏は、2003年に本との偶然の出会いをプロデュースするユニット「ブックピクオーケストラ」として活動をスタート。以来、予約制・会員制・入場料制のブックルーム[encounter.](横浜・馬車道)のプロデュースや、「TOKYO CULTUART by BEAMS」「TOKYO HIPSTERS CLUB」などアパレルブランドのセレクトショップで選書を手掛けるなど、既存の出版の枠組みを超えて本と人が出会うさまざまなきっかけを提案してきました。「文庫本セット」では「ケーキを選ぶように文庫本を選ぶ」、そんな遊び心あふれるアイデアで大人の読書心をくすぐります。本好きも、そうでない人も、カフェという意外な場所で本との偶然の出会いをお楽しみください。

掲載や取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 担当 加藤、清水、四元
〒107-0062 東京都港区南青山5-6-23 TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848
E-mail press@spiral.co.jp WEB www.spiral.co.jp

内沼晋太郎 (numabooks 代表)



numabooks 代表。ブック・コーディネーター、クリエイティブ・ディレクター。

1980 年生。一橋大学商学部商学科(ブランド論)卒。

某国際見本市主催会社にて出版関連のイベントを担当後、独立。

2003 年、本と人との出会いを提供するブックユニット「ブックピックオーケストラ」を設立、2006 年末まで代表をつとめ、特に bookroom[encounter.](北仲 WHITE/横浜)は TV、新聞、雑誌など多くのメディアで紹介された。一方で自身のレーベルとして「numabooks」を設立、のちに法人化。

ブック・コーディネーターとして「TOKYO HIPSTERS CLUB」(株式会社ワールド)、「TOKYO CULTUART by BEAMS」(株式会社ビームス)などのセレクトショップで販売する書籍のセレクトを中心として、書店のプロデュースやコンサルティングなど、本を軸に様々な企画のディレクションを手がける。

飯田竜太、施井泰平と共にアーティストユニット「森」としても活動。「numabooks CAP BOOK MARKET」(gallery ROCKET/表参道/2008)など、展覧会も多数企画・出展している。

IID 世田谷ものづくり学校に入居。ウェブディレクター、編集・ライター、DJ などとしても活動。現在は食とITの分野でも新しいプロジェクトを計画中。

著書に『本の未来をつくる仕事／仕事の未来をつくる本』(朝日新聞出版)。http://numabooks.com/

【主な実績】

◆ブック・コーディネイト

TOKYO HIPSTERS CLUB(アパレル | 東京・原宿[神宮前])

HANSEL & GRETEL(雑貨・アパレル | 東京・成城学園前)

TOKYO CULTUART by BEAMS(美術作品・雑貨・アパレル | 東京・原宿)

ほか



TOKYO HIPSTERS CLUB

◆展覧会

『numabooks CAP BOOK MARKET』(gallery ROCKET、表参道、2008)

+ING × numabooks presents『本／紙／髪』(+ING attic、代官山、2007)

『Vol.0 シーンの予感 ～フラットな世界以降の新しい美術の流れ～』(CET06、東京・日本橋、2006)

飯田竜太・内沼晋太郎・施井泰平展『森』(kukui café、恵比寿、2006)

『tenants 展』(graf media gm、大阪・肥後橋、2006) *book pick orchestra 名義

『横浜トリエンナーレ 2005:boat people association [Life on Board II - 13]』(横浜、2005) *酒井翠 名義

『WRITE ON BOOKS』(POINT、恵比寿、2005) *book pick orchestra 名義

『reading room 展』(BankART Studio NYK、横浜・馬車道、2005) *book pick orchestra、酒井翠 名義

『新世紀書店・仮店舗営業中』(パルコロゴスギャラリー、渋谷、2004) *book pick orchestra 名義

『code exhibition : new villag 展』(パルコギャラリー/渋谷、graf media gm/大阪・肥後橋、2002) *super 名義

ほか

◆著書

『本の未来をつくる仕事／仕事の未来をつくる本』

(朝日新聞出版)

◆雑誌執筆

『BRUTUS』、『Esquire』、『STUDIO VOICE』

『ecocolo』、『honeyee.mag』ほか

◆インタビュー／紹介記事掲載

『これから面白くしそうな 31 人に会いに行った。』(ピエブックス)

「読売新聞」、「東京新聞」、「日経 MJ」、「織研新聞」

「編集会議」、「雑貨カタログ」ほか



『本の未来をつくる仕事／仕事の未来をつくる本』
朝日出版社 2009年3月19日

◆NUMABOOKS 内沼晋太郎氏 コメント◆

ブック・コーディネーターとしてお仕事をさせていただいていく中で、カフェの本棚に置く本を選んでほしい、というご依頼をいただくことが何度かありました。しかしやっていくうちに、その本が並んでいる姿がその飲食店のコンセプトを伝える一助にはなっても、実際にお店を訪れるお客様に、手に取ってページをめくっていただくまでには、なかなか至らないということに気がつきました。様々な工夫を施してきましたが、とても難しい。そこでたどり着いたひとつの結論が、「飲食店で、お客様に見ていただくには、メニューに載せなければいけない」ということでした。

本と珈琲、という組み合わせは、おそらく多くの人々が認める、ひとつの最良の組み合わせです。ゆっくり読みたい本があるときは、その本を読むためにわざわざカフェに行く、という習慣がある人も多いでしょう。ならば、ちょっと空いてしまった時間にふらりと立ち寄ったカフェで、メニューの中に本が並んでいてもいいだろう、と思いました。中でも文庫本は、読みやすく、持ち帰りやすい。もともとカフェにはケーキセットという、ケーキと珈琲のセットメニューが根付いています。そういった流れで、同じくらい気軽な価格で楽しんでもらえる「文庫本セット」というアイデアが生まれました。

そのアイデアを実現する場所として、「やれるならここがいいな」と思ったのがスパイラルのカフェでした。何人かで打ち合わせをしている人、パソコンに向かってちょっとした仕事をしている人、もちろん本を読んでいる人も、色々な人がそれぞれの目的で自由に楽しむことができる雰囲気のカフェ。広々としていて天井が高く、青山という立地にあり感度の高いお客さんもととても多い。そこで、スパイラルに企画書を持ち込ませていただき、実現しました。自分もよく使っているカフェだったので、そこに来ている人々をイメージしながら、毎月5冊、丁寧に選んでいきます。

イベント概要

spiral book project NUMABOOKS presents 文庫本セット

会 期:4月12日(日)~9月12日(土) 17:00以降

会 場:スパイラルカフェ(スパイラル 1F)

セット内容:文庫本1冊+ドリンク1杯

(ドリンク:コーヒー、エスプレッソ、カプチーノ、カフェラテ、紅茶、
ハーブティー<レモングラス/ジャスミン/ローズ/カモミール>、
フレーバーティー<アップル/ピーチ/ストロベリー>)

*文庫本はお持ち帰りいただけます。

価 格: 第1弾~第3弾 1,350円(税込)

第4弾~第5弾 1,200円(税込)

スケジュール: 第1弾 4月12日(日)~5月16日(土)
第2弾 5月18日(日)~6月13日(土)
第3弾 6月14日(日)~7月11日(土)
第4弾 7月12日(日)~8月8日(土)
第5弾 8月17日(月)~9月12日(日)

◆第1弾 (4月12日~5月16日)の文庫本セット ラインナップ◆

- ・ 武田百合子 「ことばの食卓」(ちくま文庫) ¥672
- ・ いいいしんじ 「麦ふみクーツェ」(新潮文庫) ¥700
- ・ ポリス・ヴィアン 「心臓抜き」(早川 epi 文庫) ¥735
- ・ チェストン 「木曜日だった男」(光文社古典新訳文庫) ¥680
- ・ オノ・ヨーコ 「グレープフルーツ・ジュース」(講談社文庫) ¥680

◆第2弾 (5月17日~6月13日)の文庫本セット ラインナップ◆

- ・ 保坂和志 「プレーンソング」(中公文庫) ¥720
- ・ リチャード・ブローティガン 「西瓜糖の日々」(河出文庫) ¥798
- ・ 須賀敦子 「ユルスナールの靴」(河出文庫) ¥672
- ・ イタロ・カルヴィーノ 「見えない都市」(河出文庫) ¥893
- ・ 岡本太郎 「日本の伝統」(光文社文庫) ¥660

◆第3弾 (6月14日~7月11日)の文庫本セット ラインナップ◆

- ・ カート・ヴォネガット・ジュニア 「スローターハウス5」(ハヤカワ文庫) ¥693
- ・ ポール・オースター 「ムーン・パレス」(新潮文庫) ¥740
- ・ 花森安治 「暮しの眼鏡」(中公文庫) ¥700
- ・ 佐野洋子 「私の猫たち許してほしい」(ちくま文庫) ¥714
- ・ 菊地成孔 「スペインの宇宙食」(小学館文庫) ¥690